

DPCデータの有効活用: QlikView 超入門

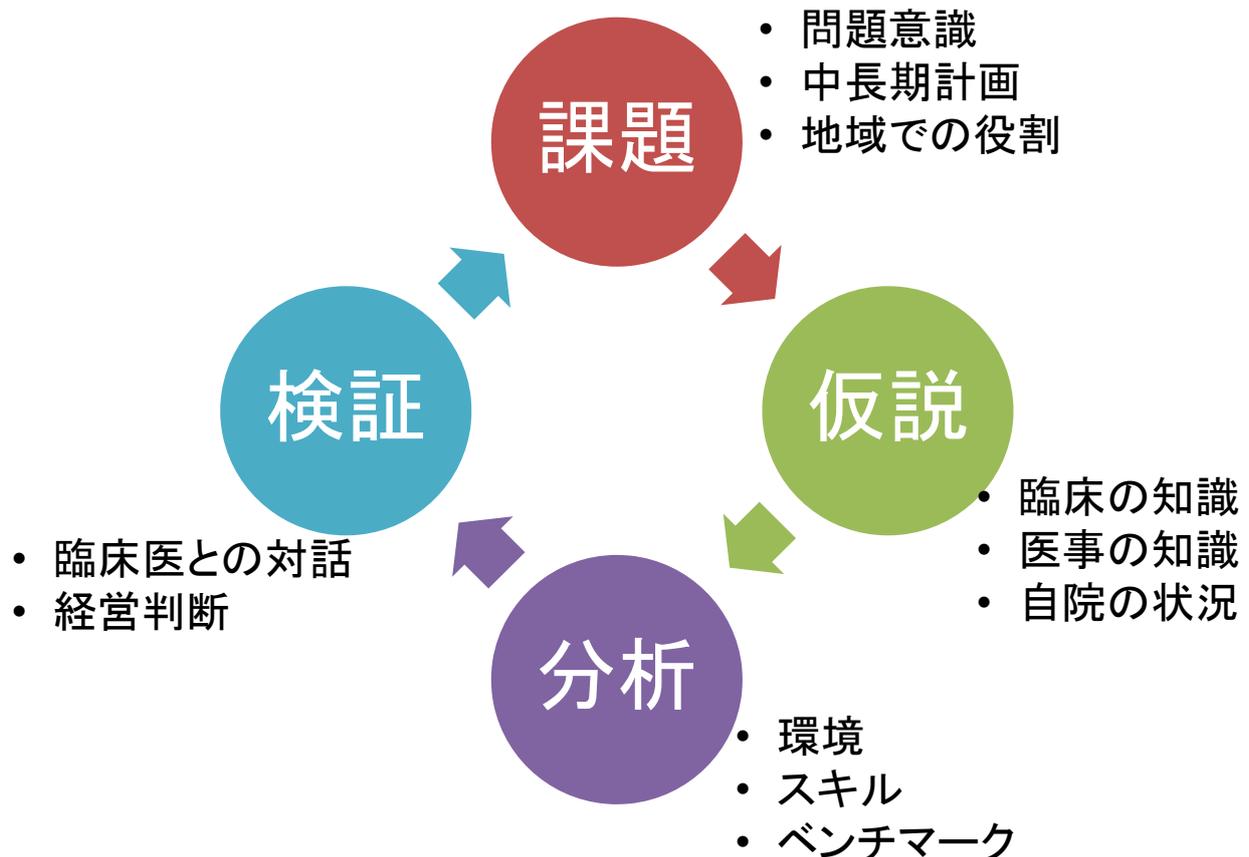
北海道大学病院
地域医療指導医支援センター
藤森 研司

本セミナーの注意点:

本セミナーでは、QlikViewを使用して演習をおこないます。あらかじめダウンロードして、インストール、実行確認しておいてください。これは無料です。

2012.10.27 高知DPCセミナー

2



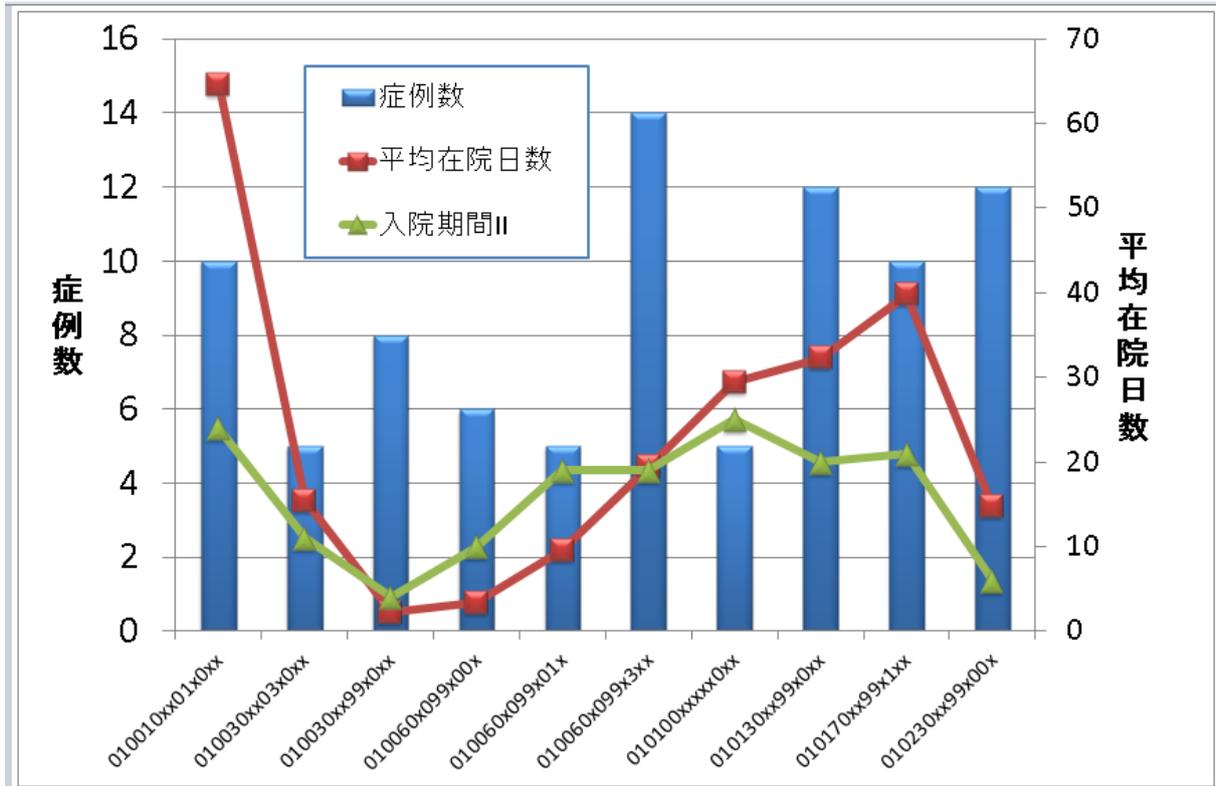
本日のお題

- BIツールを使ってみる
- DPC14桁別の自院の平均在院日数とそれに対する入院期間Ⅱを求める。
- 加えて、症例数を表示する。
- 但し、5例以上のものに限定する。
- 平均在院日数は小数点1桁とする。

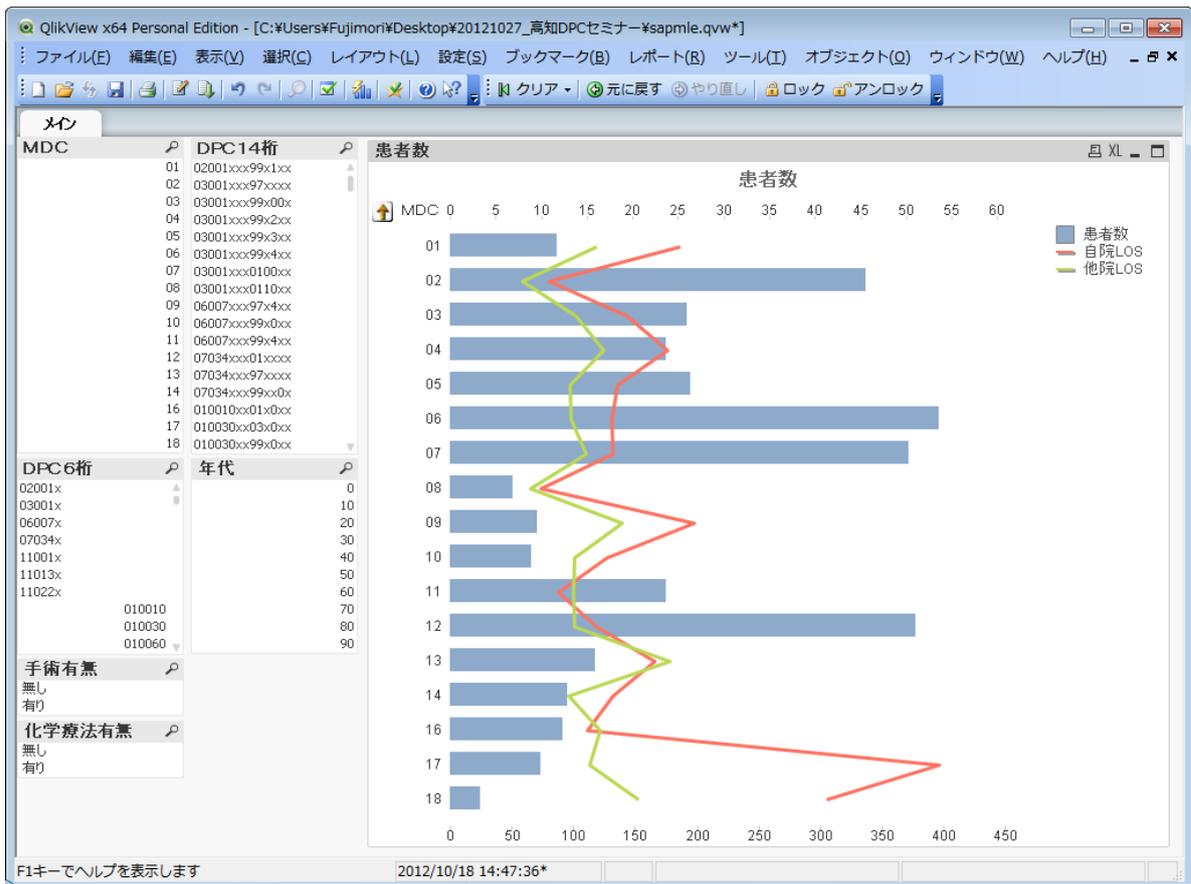
こんなデータがあったとしましょう

RecID	MD C	DPC6桁	DPC14桁	DPC6桁名称	在院 日数	入院期 間Ⅱ	手術有 無	化学療 法有無	年代
00500017162 0090720	02	020220	020220xx99xx0x	緑内障	2	3	無し	無し	50
00500047942 0090724	07	070560	070560xx99x0xx	全身性臓器障害を 伴う自己免疫性疾患	3	21	無し	無し	30
00500090482 0090730	04	040080	040080xx99x00x	肺炎、急性気管支炎、 急性細気管支炎	2	8	無し	無し	60
00500060782 0090619	05	050163	050163xx04x0xx	非破裂性大動脈瘤、 腸骨動脈瘤	25	18	有り	無し	80
00500076502 0090623	02	020160	020160xx97xxx0	網膜剥離	16	14	有り	無し	50
00500049202 0090601	07	070045	070045xx99x1xx	黒色腫	36	11	無し	無し	30
00500077732 0090626	14	140010	140010x299x00x	妊娠期間短縮、低出 産体重に関連する障 害	9	12	無し	無し	0
00500019292 0090703	07	07034x	07034xxx99xx0x	脊柱管狭窄(脊椎症 を含む。)	24	8	無し	無し	50

Excelで二軸のグラフを書いてみる



QlikView®で可視化



ロード スクリプトの編集 [QV1]

ファイル 編集 挿入 タブ ツール ヘルプ

リロード デバッグ

Main

```

1 SET ThousandSep=',';
2 SET DecimalSep='.';
3 SET MoneyThousandSep=',';
4 SET MoneyDecimalSep='.';
5 SET MoneyFormat='¥#,##0;-¥#,##0';
6 SET TimeFormat='h:mm:ss';
7 SET DateFormat='YYYY/MM/DD';
8 SET TimestampFormat='YYYY/MM/DD h:mm:ss[.fff]';
9 SET MonthNames='1;2;3;4;5;6;7;8;9;10;11;12';
10 SET DayNames='月;火;水;木;金;土;日';
11
12

```

インポート用のファイルを選択する。
OKの後、「リロード」する。

```

Directory;
LOAD RecID,
MDC,
DPC6術,
DPC14術,
DPC6術名称,
在院日数,
入院期間II,
[手術有無],
化学療法有無,
年代
FROM
①Q_FF1在院日数_QV用.txt
(txt, codepage is 932, embedded labels, delimiter is ',', msg);

```

データ 関数 変数 設定

データベース

ODBC 接続... 32 Bit 互換モード 選択...

ファイル データ

相対パス FTP の使用

テーブル ファイル...
QlikView コメント...
Web ページ...
項目値...

OK キャンセル ヘルプ

プロパティ(P)...

リスト ボックスの追加...

シート オブジェクトの追加(N) ▶

シートのコピー(C)

シート オブジェクトの貼り付け(A)

リンク オブジェクトの貼り付け

印刷(P)...

画像をクリップボードにコピー

画像をファイルにエクスポート

ヘルプ

削除

絞り込み条件用の項目を選ぶ。

シート プロパティ [メイン]

基本設定 項目 オブジェクト セキュリティ トリガー

項目

RecID
入院期間II
在院日数
DPC6術名称

追加 >
すべて追加 >>
< 削除

リスト ボックス表示項目

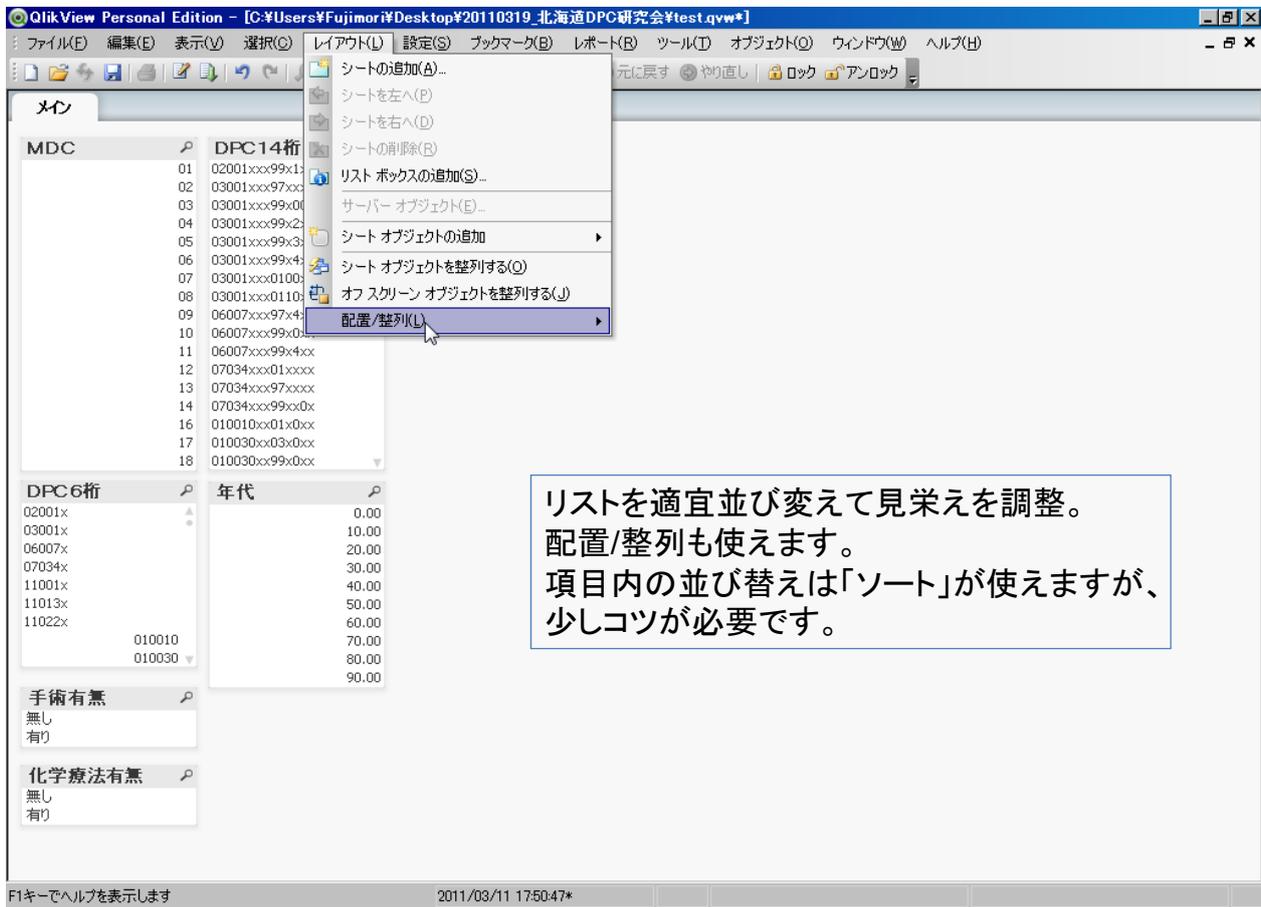
化学療法有無
年代
手術有無
DPC14術
DPC6術
MDC

テーブルの項目を表示

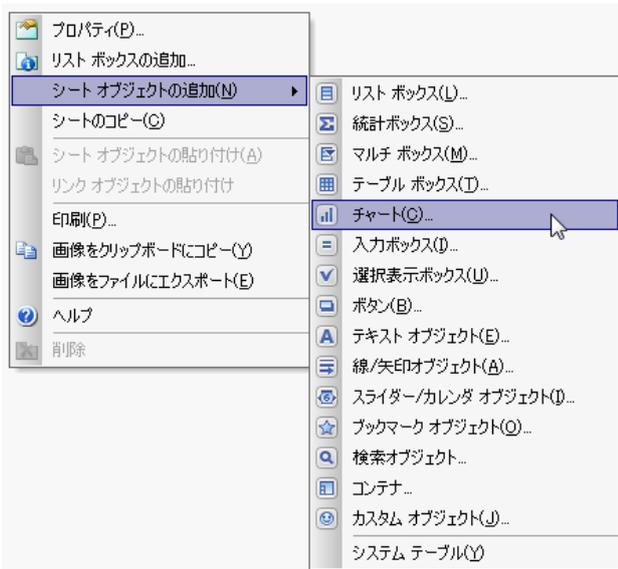
すべてのテーブル

システム項目の表示

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ



リストを適宜並び変えて見栄えを調整。
 配置/整列も使えます。
 項目内の並び替えは「ソート」が使えますが、
 少しコツが必要です。

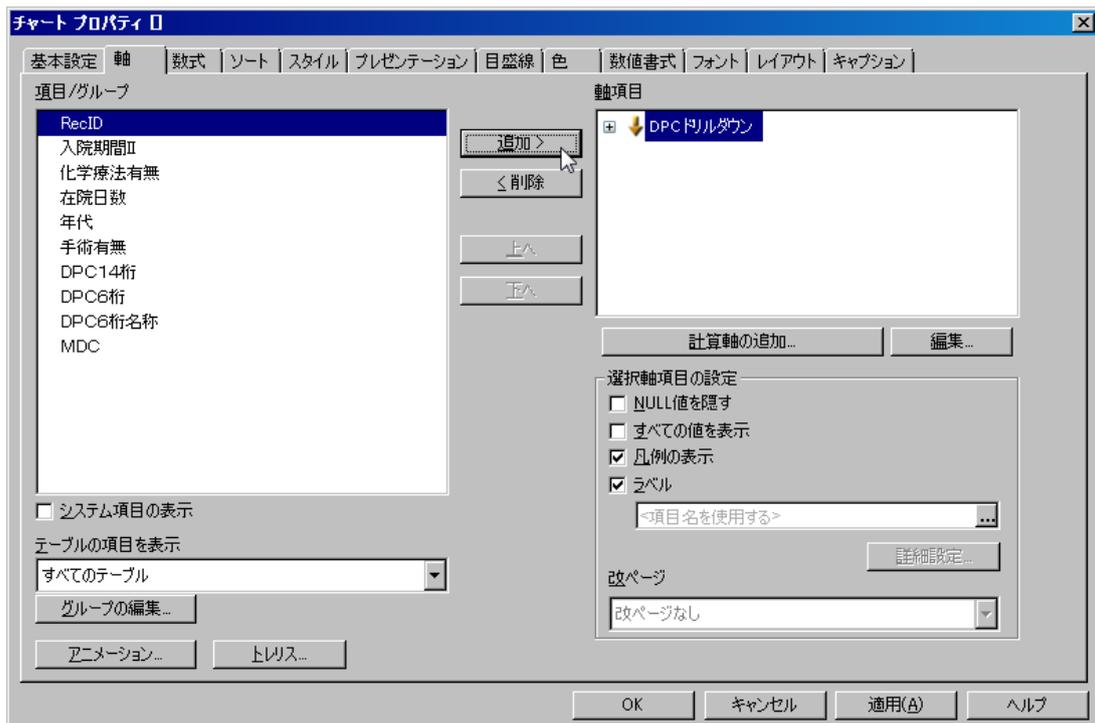
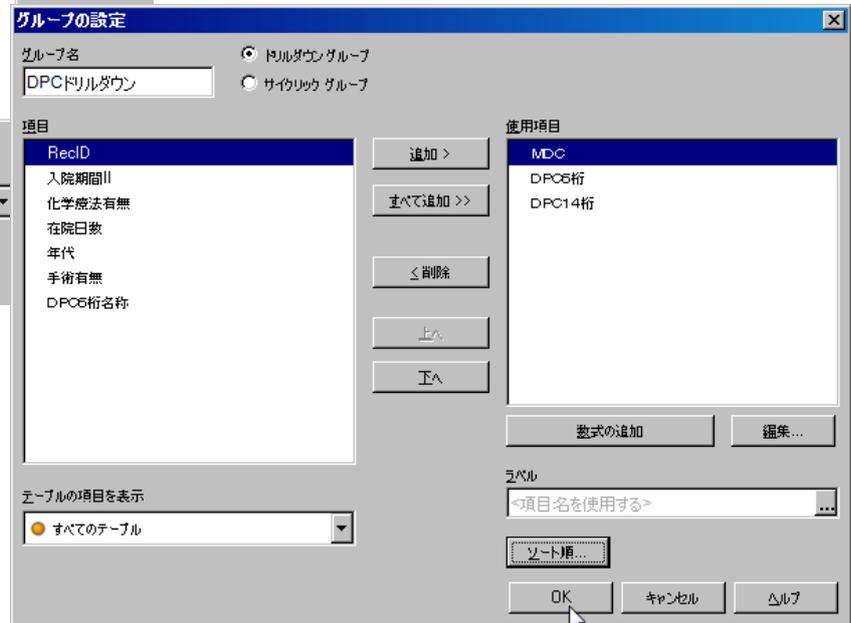


グラフを書く。
 たくさんの種類があるが、ここでは
 棒と線のコンビを選ぶ。
 同じ画面で、複数のグラフを切り替
 えることもできる。

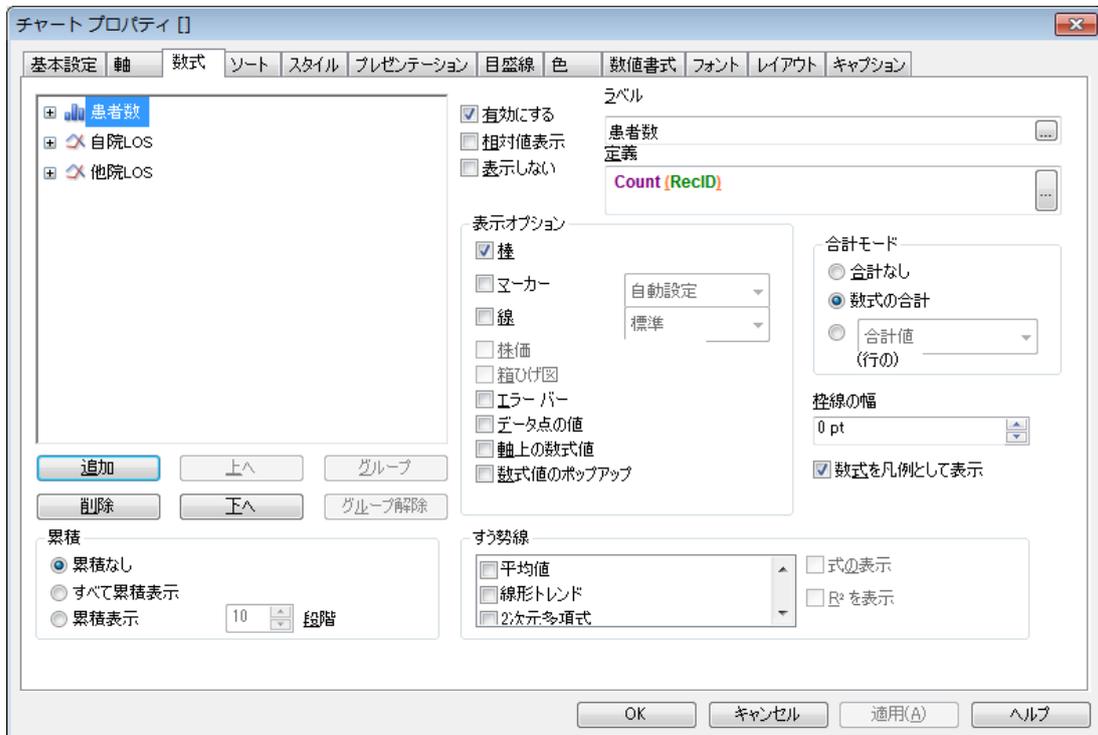
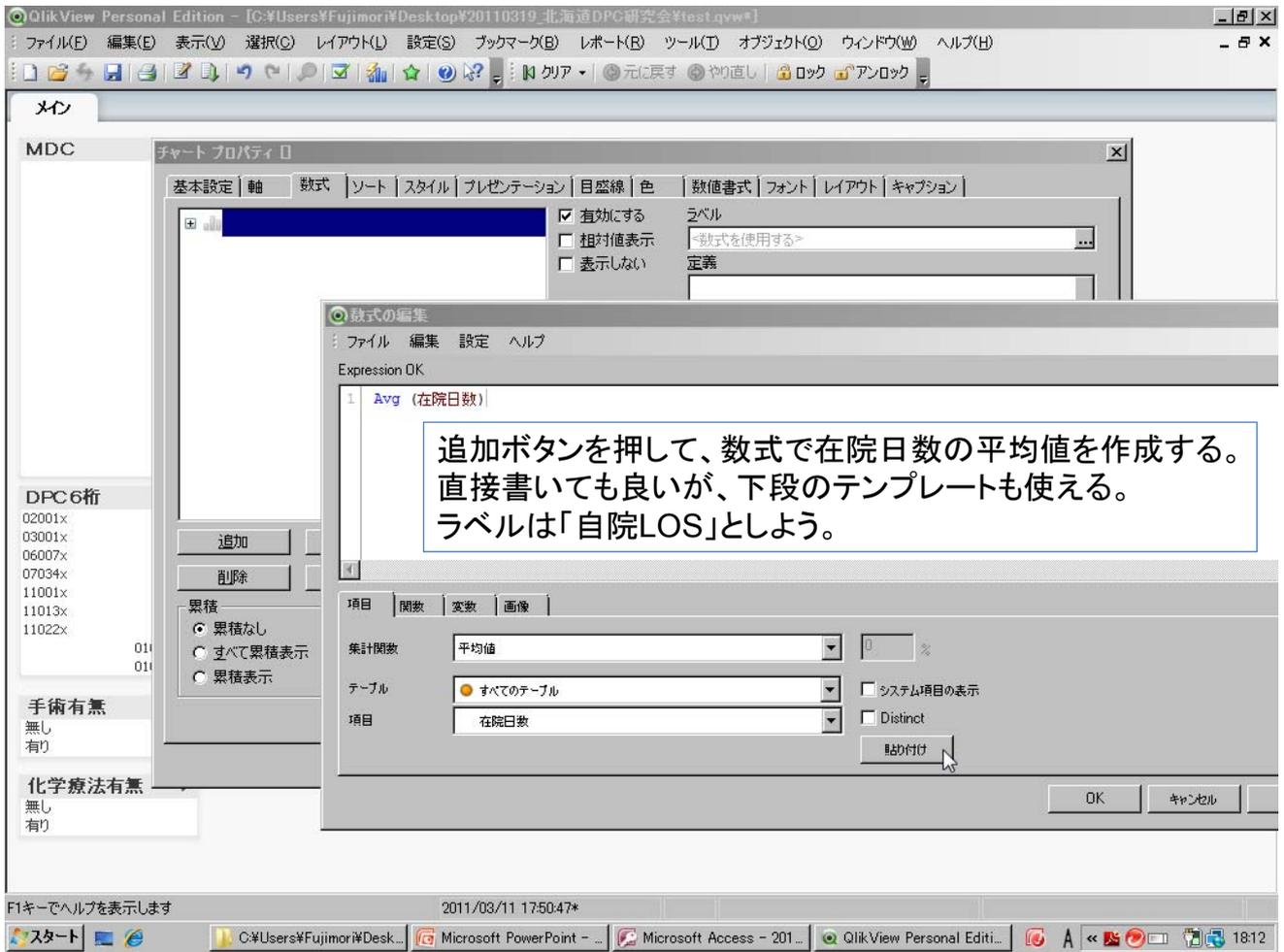




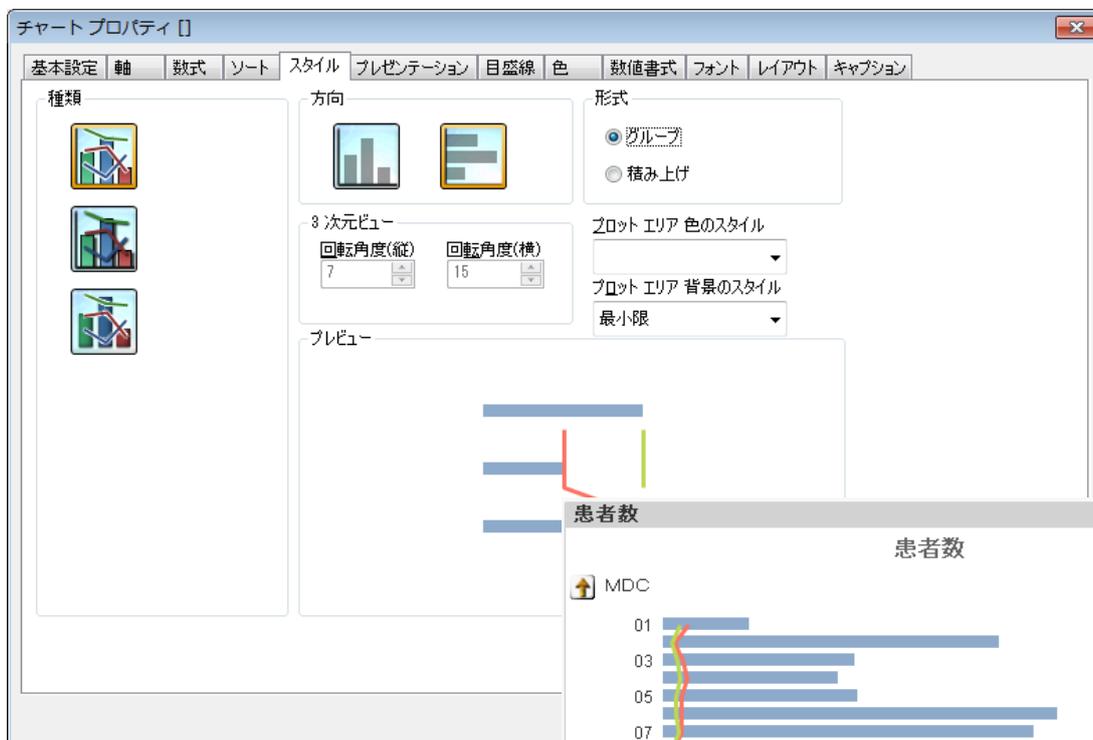
「グループの編集」でドリルダウン用の項目を作成します。
MDC→DPC6桁→DPC14桁の順。



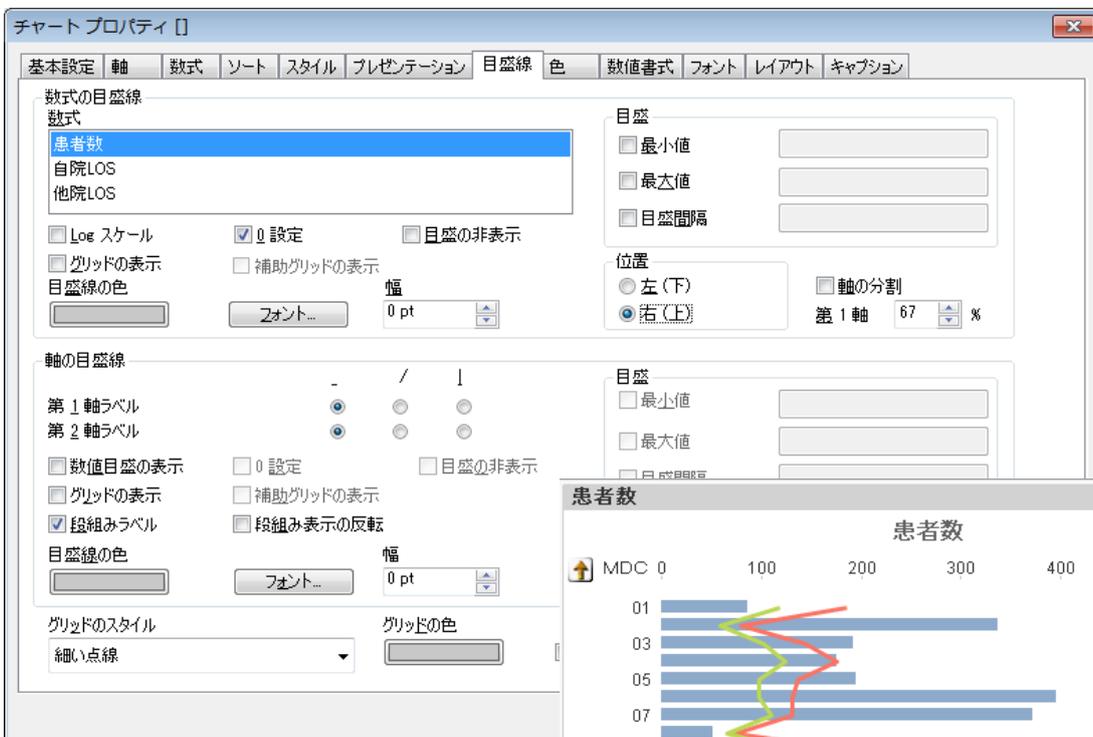
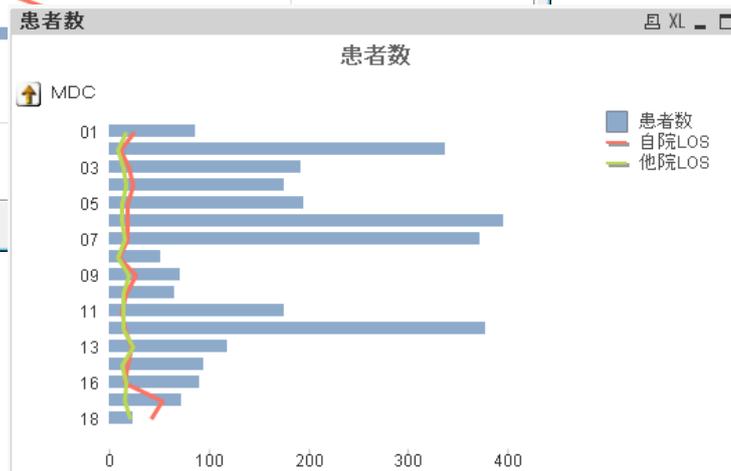
軸項目に、今作ったドリルダウン項目を追加する。



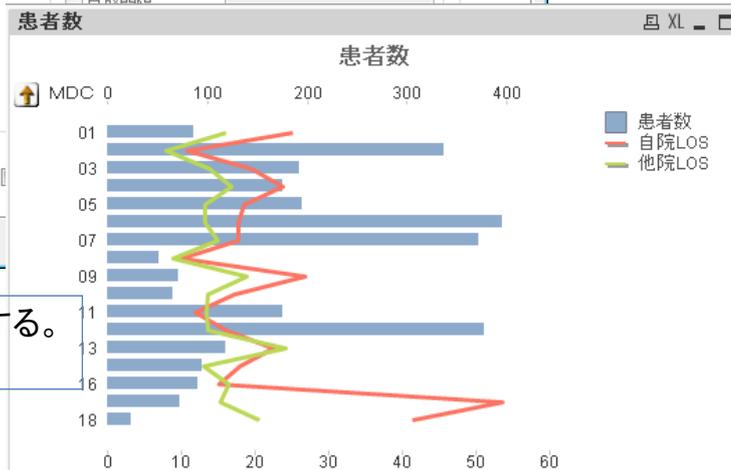
同様に、入院期間Ⅱの平均全国LOS、RecIDのカウントを患者数とする。表示オプションで患者数は棒、LOSは線を選ぶ。

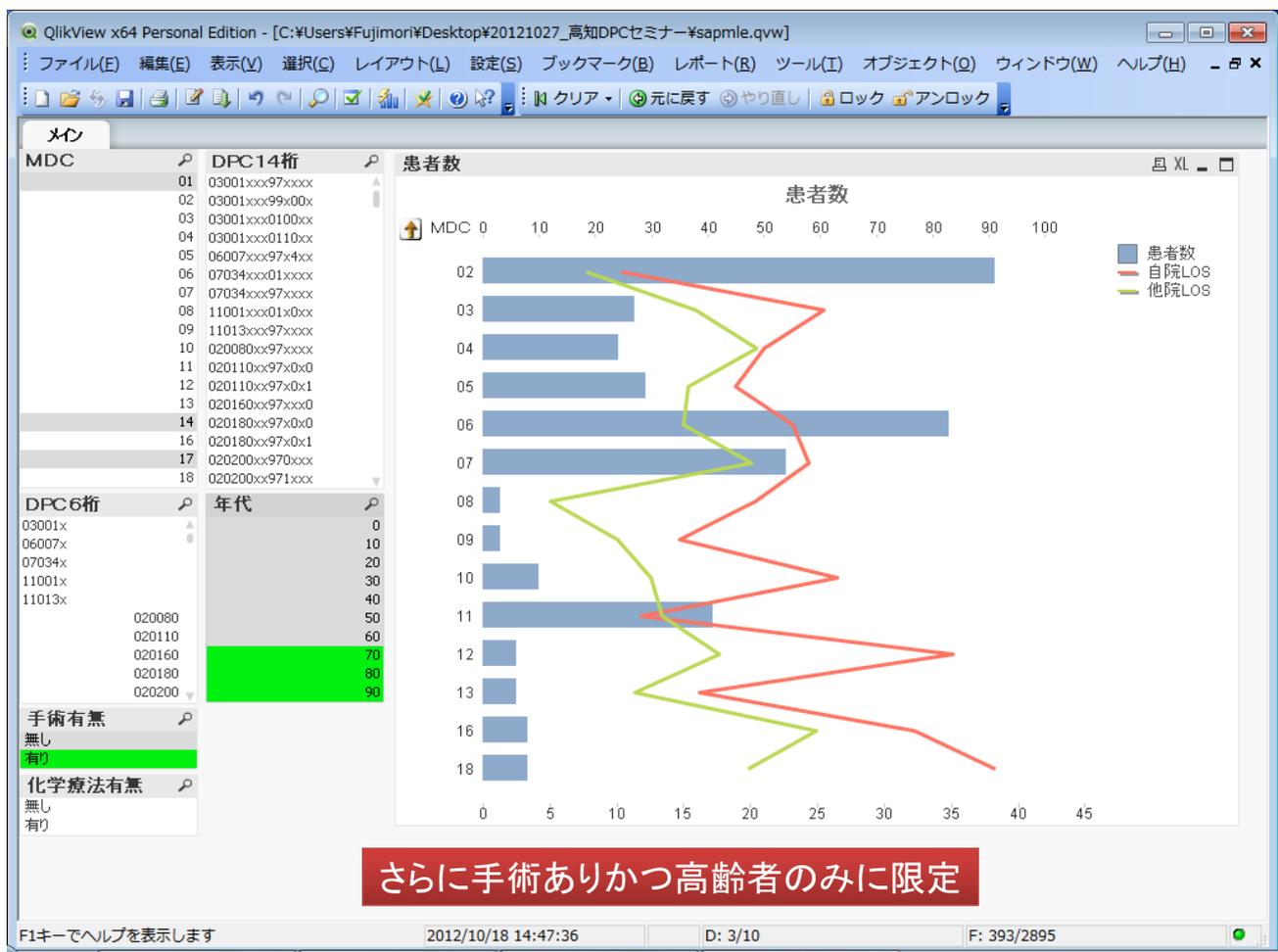


スタイルで横方向を選ぶ。
ここまでくればもう一歩。



「目盛線」で患者数を右(下)の位置とする。
これで二軸のグラフが完成。





QlikViewの使用要件

- 1台のPCで利用している限りにおいては無償
 - ✓ 機能的な制約は1点のみ
 - 他のPCで作成したファイルは扱えない
- 表示結果の出力は制約なし
 - ✓ Excelへのテーブル出力、グラフのpng出力
- BIツールの一種であり、生のDPCデータが扱えるわけではない
 - ✓ DPCデータの加工は別途必要
- ライセンスは①サーバー+ユーザと②スタンダードアローン